住み慣れた地域で暮らし続けたい

人と人との助け合いのシステム「在宅福祉サービス」を一緒に考えてみませんか

あなたは、自分や家族の老後に対して、どんなイメージを持っていますか。総理府の「高齢期の生活のイメージに関する世論調査」によると、老後に対する不安を感じている人が9割にも達しています。このような不安を少しでも和らげるために、人と人が地域の中で支え合って生活していくという助け合いのシステム、在宅福祉サービスについて一緒に考えていきませんか。

日本の高齢化は、世界でも例を見ない程急速に進んでいます。

全国の総人口に占める65歳以上の人口の割合15・4％と比較すると、狭山市は平成8年6月現在で9・38％と、まだまだ若い市民の多い市と言えます。しかし、この割合が7％（高齢化社会）から、14％（高齢社会）になるまでの期間を見ると、全国で25年かかるのに対し、狭山市では15年という急激な速さで進行することが予想されており、狭山市の高齢化の特徴となっています。このような状況下で、市では、誰もが住み慣れた地域や家庭の中で、自立し、生きがいを持って暮らし続けることができる街をつくるために、「狭山市老人保健福祉計画」の策定をはじめとするさまざまな基盤整備に取り組んでいます。

しかし、多種多様な市民のニーズにきめ細かく、適切に対応することには、公的サービスだけではどうしても限界があります。そのために、市では、市民の皆さんが本当に望む福祉サービスを充実させるためにも、皆さんの参画による人と人との助け合いのシステム「在宅福祉サービスの提供機関」のあり方について検討を始めました。これは、普段の生活の中でできる人が、できる時に、できることをするという、まさに助け合いのシステムで、まずは手始めに、全国各地で住民参加による福祉サービスの組織を運営している代表のかたがたをお招きし、その実践例を学ぶ学習会を計画します。

学習会の中から、狭山市にとって本当に必要な在宅福祉サービスシステムのあり方について、参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。狭山市の「人と人との助け合い」、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

「今日は血圧どれくらいかな。」
老人福祉センター寿荘のデイサービスでの一場面

寿荘のデイサービスではみんな和気あいあい
足を使って風船ゲームをしています

学習会日程

7月29日(火) 市役所6階会議室
「時間預託と在宅ケア・ボランティア活動」
講師：さわやか愛知代表・川上里美氏

8月20日(水) 市役所7階会議室
「市民が自立した助け合い」
講師：ケアハンズ（浦和市）代表・中村清子氏

9月8日(月) 市役所6階会議室
「福祉公社と市民ボランティアの関係」
講師：かがやき（江東区）代表・中村喜佐子氏

●時　間／いずれも13時30分～15時30分
●定　員／80名　●費　用／無料
●申し込み／7月24日(木)までに官製はがきに住所、氏名、電話番号、受講の動機を記入して、狭山市役所社会福祉課福祉公社設立担当
（〒350-13　入間川1-23-5、3回とも出席できるかた優先）へ
〔問い合わせ〕社会福祉課福祉公社設立担当（内線656）

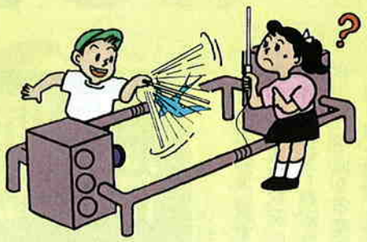
博物館で！実体験！

8月1日（金）から企画展「ふしぎ体験館」を開催

とき8月1日（金）～31日（日）、9時～17時

もうすぐ楽しい夏休みがやってきます。博物館では、夏休みにあわせ、企画展「ふしぎ体験館」を開催します。小・中学生の皆さんに関心の高い科学の世界。「なぜ？」「どうして？」と考えさせられることが、どなたにもあるのではないでしょうか。

「ふしぎ体験館」では、この科学の世界が、ふだん私たちが見慣れている世界とは違った不思議な世界であることを、教えてくれます。さあ、大人のかたもご一緒に「見て」「聞いて」「触って」、ふしぎ体験館を実体験してみてください。



▲ステッキスクリーン
光源の前で備えつけのステッキを上下に素早く振ると、何もない空間に映像が現れます

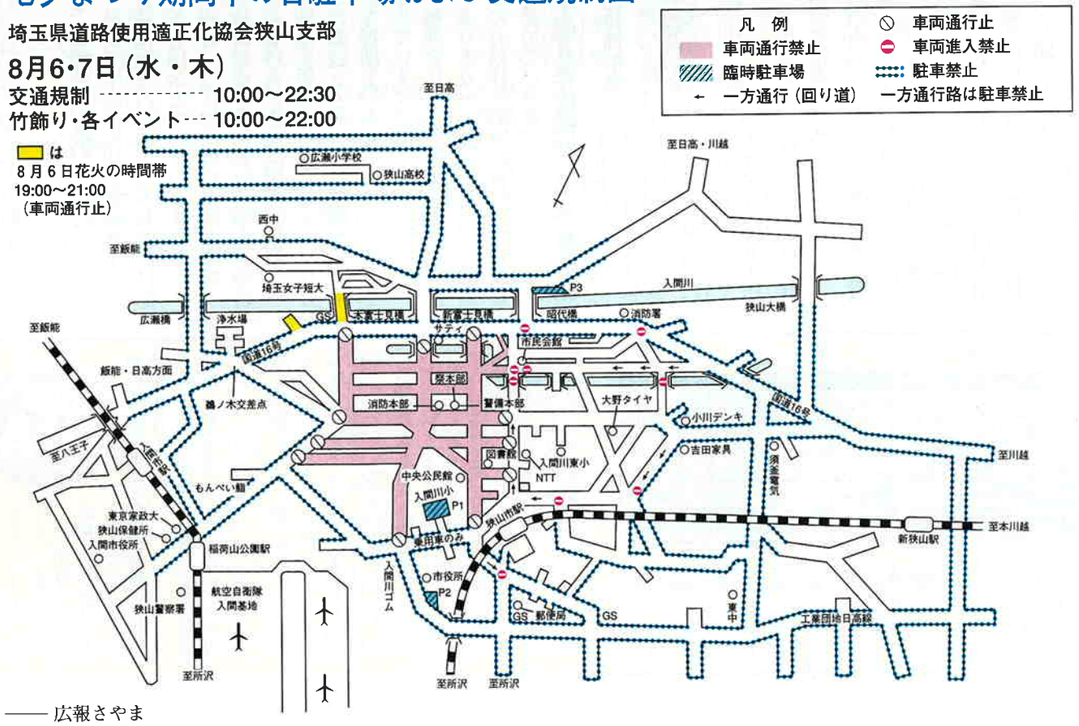
▶ゆがみ絵
さて、これは何の絵でしょう。中心の円柱に注目！答えが写しだされています

◀反重力の鏡
ほーら浮いているでしょ。えっ！インチキだって？そんなこと言わずに、一緒に遊んでみてください。結構おもしろいですよ

※この他、15種に及ぶ不思議体験があなたをまってます

問い合わせ博物館（8月4・11・18・22・25日は休館）へ☎55－3804

七夕まつり期間中の各駐車場および交通規制図

埼玉県道路使用適正化協会狭山支部

8月6・7日（水・木）
交通規制 ---------- 10:00～22:30
竹飾り・各イベント --- 10:00～22:00